

# 工場用副資材調達で連携

## トラスコ中山とSAPジャパン 在庫最適化を支援

トラスコ中山とSAPジャパン（東京都千代田区、福田議社長、03・6737・3000）は、トラスコ中山が2020年1月に稼働を予定するプロツール（工場用副資材）調達サービス「MROストックカー」と、SAPジャパンが運営するクラウド型の調達支援ソリューション「アリバ」を連携することで合意した。

MROストックカーは工場内の生産現場や建設現場などのプロツールの使用現場に隣接した場所に設置し、現場

で使用する間接材を「マース」と、MROストックカーとの連携も可能。MROストックカー

新たなサービスではユーザーは在庫を保有せずに必要なときに必要な分だけ商品を利用でき、使用した分だけ料金が発生する。在庫の補充、請求は販売店経由で行う。現在、20年1月の稼働を目指して、POC（概念実証）を進めている。

「置き薬」のように、トラスコ中山の資産として棚に取りそろえる。

の購買・調達情報を自社の購買システムや会計システムで一元管理して、在庫の最適化や需要予測を実現できる。MROストックカー稼働後、将来的には注文や決済、在庫管理などの作業をスマートフォンの簡単に行える仕組みや、膨大な顧客データや天候データを分析し、現場に最適化された商材の提供を可能にする予定だ。